

和光市富士講関連資料の市外所在調査

野澤均 相田由莉 江口やよい
大内一雄 坂口由加里 田中由美

1. はじめに

今回は、市内富士塚調査の基礎調査の一環として市内富士講の人々が各地に残した富士講関連の扁額や石造物などの所在対象物を確認するために実施した。

調査方法は、主に文献から拾い出すことを主とし、解説文などは記されている資料のまま掲載した。必要により写真撮影も行った。また越後山丸吉講の資料についても練馬区と分離が難しいことから掲載することとした。

2. 富士山麓の遺産

①富士吉田市に残る和光市内富士講の遺産 扶桑教会

- ・丸滝講造立碑 明治 12 年 (1879)5 月
武蔵国新座郡白子宿
富沢繁右衛門¹



扶桑教会 丸滝講造立碑

毘沙門屋 佐藤勝利家

- ・丸吉講造立碑
新倉大々講先達小池増吉²
- ・先達像 丸吉講 小池生行翁真像³
→群馬県太田市金山町新田金山城跡に同名の

先達の像があるが、丸吉講小池生行翁真像との関係は確認出来なかった。

鈴原社

- ・太々御神楽講記念碑 大正 5 年 (1916) 8 月
白子・越後山⁴
- ・丸吉講造立碑 嘉永 7 〇年 (1854)6 月
東京府北豊島郡大泉村橋原越後山村田又八
以下名あり⁵

御師筒屋

- ・丸吉講奉納額 東京成増宝元講五カ年満願成就記念 昭和 21 年 (1946)7 月
白子市場城山・白子宿⁶

御師榎田家

- ・越後山丸吉大々講奉納額 登山綿入拾枚保存金参円 明治 41 年 (1908)7 月⁷
→丸吉大々講 越後山先達村田真(貞)蔵と染め抜かれている綿入を奉納した際の扁額⁸
- ・丸吉講奉納額 北口登山丸吉代々講中 明治 41 年 (1908)7 月
越後山先達村田彦次郎他 44 名⁹
- ・丸吉講奉納額 丸吉太々御神楽講 大正 5 年 (1916)8 月¹⁰
白子村 越後山先達村田貞蔵

3. 近隣に残る和光市内富士講遺産

①新座市

片山富士塚 (法台寺境内)

- ・法台寺の片山富士の脇に墳墓
墓標台石 天保 2 年 (1831)
→関連講社名あり (下新倉村浅久保・上白子村中里・下白子村牛房)¹¹
- ・山頂に丸滝講造立碑
慶応 2 年 (1866)¹²
- ・山頂に丸滝講造立碑
白子宿
富澤繁右衛門 同 藤七 高橋熊太郎¹³

中野富士塚（個人邸内）

- ・丸吉講造立碑 明治4年(1868)4月
陽眠筆「天下泰平 萬民豊樂 五穀成就 子孫
長久」¹⁴

②志木市**田子山富士塚（敷島神社境内）**

- ・玉垣
下新倉芝宮 高橋金蔵
下新倉邑 高橋仙之助¹⁵
- ・石燈籠 明治5年(1872)6月
牛房 富沢藤七¹⁶
- ・浅間下社玉垣
新座郡新倉村浅久保
丸吉講同行¹⁷
- ・醬油蔵連盟碑
浅久保邸 柳下傳内¹⁸
- ・登山五十五度修行碑 明治5年(1872)6月
丸吉講 浅久保 柳下陽藏¹⁹
- ・水車中鈴原神社奉獻碑
上新倉 井之口六左衛門²⁰
- ・経ヶ嶽寄進講中連名碑
新倉村講中
下新倉村 吉田久蔵²¹
- ・小御岳神社 明治5年(1872)6月
陽眠柳真書
丸瀧惣同行²²
- ・御中衛大願成就碑 明治5年(1872)6月
浅久保 柳下傳内²³
- ・松尾神社奉納品記名碑
牛房 富澤藤七
浅久保 柳下與市
牛房 嘉山平兵衛
新倉 柳下織右工門²⁴
- ・御前立奉獻碑 明治8年(1825)5月
下新倉村 田中金五郎
高橋金蔵
高橋仙之助
田中巳之助²⁵
- ・桶工中寄進連名碑 明治5年(1872)6月か
白子城山 新坂亦一
市場 榎本弥吉
原新田 岡田源蔵 天野中助

浅久保 田中沢五良

向山 嘉山嘉之助

世話人 原新田 岡田源蔵

天野平次良

浅久保 高瀬丈右衛門²⁶

- ・住吉社寄進連名碑 明治9年(1876)7月
吹上 油屋牧蔵
白子 榎本文蔵²⁷

田子山富士関係資料目録

宮岡昭美家

- ・御身拔(写) 享保11年(1726)6月
柳下陽眠
- ・烏帽子岩御礼歌 元治改元(1864)9月
陽眠居士²⁸
- 高須富士男家
- ・富士登山講連名帳 元治元年(1864)9月
陽眠居士
- ・奉納(文書) 明治6年(1873)6月
上新倉 本橋新蔵²⁹
- 尾崎征男家
- ・『不二山道知留邊(富士山道知留邊)』
万延元年(1860)³⁰

敷島神社

- ・丸吉講奉納額 新富士百三拾三所
明治5年(1872)6月
下新倉鎮守地内社富士山
白子仙元富士山
浅久保仙元富士山³¹

羽根倉富士嶽（宗岡浅間神社境内）

- ・丸吉講造立碑 明治13年(1880)
上新倉村・下新倉村・浅久保村³²

③練馬区**中里富士塚（八坂神社境内）**

- ・登山三拾三度大願成就碑
慶応4年(1868)6月
御中道修業・御八海修行 富澤藤七
白子 二代目先達富沢藤七建立³³
- ・富士太々講記念碑 明治41年(1908)7月
新倉村・白子村の人名³⁴
- ・役行者碑
浅久保 植木屋2名の人名³⁵
- ・小御岳神社碑 明治7年(1874)4月

浅久保同行中³⁶



中里富士塚 登山三拾三度大願成就碑

④板橋区

上赤塚富士塚（赤塚氷川神社境内）

・丸瀧講登山三十三度大願成就記念碑

慶応4年(1868)6月

御中道修行・御八海修業 富沢藤七

白子 二代目先達富沢藤七建立³⁷

下赤塚富士塚（大門諏訪神社境内）

・薬師嶽碑 大正5年(1916)8月

富士大々記念碑 越後山³⁸

4. まとめ

「江戸八百八講」といわれ江戸に多く存在していた富士講は、近郊の和光市の地域にも伝播した。

市内の富士講は吉田口登山道から登拝していたため、宿坊としていた旧上吉田村の御師の家にも造立碑や扁額が奉納されている。毘沙門屋の門柱や、筒屋・榎田家の扁額である。さらに扶桑教会には三代にわたる富澤繁右衛門の登山記念碑が造立されている。

丸吉講下新倉講社や丸瀧講白子講社による石造物や扁額は、和光市近隣の片山富士塚・田子山富士塚・中里富士塚などにも奉納され、上赤塚富士塚・下赤塚富士塚にもみられる。

また、慶応4年の二代目富沢藤七建立の登山三十三度大願成就碑は、白子富士塚をはじめ、中里富士塚・上赤塚富士において3基が造立

されている。

市内の富士塚の石造物には、それぞれの講社によるものや近隣の講社によるもののみならず、小川町の丸三講、板橋区の永田講、渋谷道玄坂を中心とする山吉講など、他の富士講社の石造物もみられる。

このように、富士講は富士塚築造に際し、自らの講社だけでなく、近隣の講社や交流のある他地域の講社の富士塚築造の際には互いに協力し合っていたことが理解される。

富士山御縁年の万延元年(1860)には、代表的な富士登山の案内記である松園梅彦編『不二山道知留辺』が刊行された。浅久保富士塚の関係者である柳下陽眠(柳下徳次郎)が校閲者として記されている。柳下陽眠は、新座市の中野富士塚にも選文碑が造立されており、その交流がうかがえる。また『不二山道知留辺』の雲切不動明王の項には、「白子なる(丸瀧講印)富沢繁右衛門といふ者寛政五年六月廿日より三十八日目にして見出したると云」と記されている。現在でも富士山研究に欠かせない文献的価値のある案内記に和光市にゆかりのある人物が携わっていたことも和光市の遺産であろう。

なお、文中では敬称は省略させていただきました。

【註】

- 1 富士吉田市史編さん室編 1991『上吉田の石造物』富士吉田市教育委員会 (p.37)
- 2 同上 (p.46)
- 3 富士吉田市史編さん室編 1989『上吉田の民俗—富士吉田市上吉田—』富士吉田市 (p.348)
- 4 練馬区立ふるさと文化館編 2015『富士山—江戸・東京と練馬の富士—』練馬区立ふるさと文化館 (p.94)
- 5 富士吉田市史編さん室編 1991『上吉田の石造物』富士吉田市教育委員会 (p.244)
- 6 板橋区立郷土資料館編 1996『特別展 旅と信仰—富士・大山・榛名への参詣—』板橋区立郷土資料館 (p.23)
- 7 練馬区立ふるさと文化館編 2015『富士山—江戸・東京と練馬の富士—』練馬区立ふ

- るさと文化館 (p.54)
- 8 同上 (p.70)
- 9 同上 (p.55)
- 10 同上 (p.55)
- 11 平野栄次 2004「武蔵野の富士講」『富士信仰と富士講』『平野栄次著作集 I』岩田書院 (p.326 ~ 328)
- 12 「片山富士塚」のある新座市「法基寺(ほうだいじ)」の巻 その②「富士塚」編
とりけらのアウトドア&ミュージック日記
<https://torikera3.blog.fc2.com/blog-entry-3243.html?sp> (参照日:2022.03.01)
- 13 同上
- 14 丸吉講の富士塚を訪ねて!新座市「中野富士塚」は女子大の隣の崖の端にあった!の巻
とりけらのアウトドア&ミュージック日記
<https://torikera3.blog.fc2.com/blog-entry-3244.html?sp> (参照日:2022.03.01)
- 15 志木市教育委員会編 1996 志木市の文化財第22集『調査報告書 田子山富士(下)』志木市教育委員会 (p.19 ~ 23)
- 16 同上 (p.28・29)
- 17 同上 (p.30・31)
- 18 同上 (p.42)
- 19 同上 (p.44)
- 20 同上 (p.53)
- 21 同上 (p.62 ~ 64)
- 22 同上 (p.71 ~ 73)
- 23 同上 (p.89)
- 24 同上 (p.117 ~ 119)
- 25 同上 (p.136)
- 26 同上 (p.138)
- 27 同上 (p.142)
- 28 志木市教育委員会編 1996 志木市の文化財第22集『調査報告書 田子山富士(上)』志木市教育委員会 (p.122)
- 29 同上 (p.130)
- 30 同上 (p.133)
- 31 同上 (p.32・33・270)
- 32 平野栄次 2004「武蔵野の富士講」『平野栄次著作集 I 富士信仰と富士講』岩田書院 (p.324・325)
- 33 志木市教育委員会編 1996 志木市の文化財第22集『調査報告書 田子山富士(上)』志木市教育委員会 (p.109 ~ 112)
- 34 平野栄次 1978「東京都の富士塚」神奈川県日本常民文化研究所編『富士講と富士塚 東京・神奈川』平凡社 (p.53 ~ 86)
- 35 練馬区教育委員会編 1984『練馬の富士塚』練馬区教育委員会 (p.40)
- 36 練馬区教育委員会編 1984『練馬の富士塚』練馬区教育委員会 (p.41)
- 37 同上 (p.41)
- 38 同上 (p.43)
- 39 平野栄次 1978「東京都の富士塚」神奈川県日本常民文化研究所編『富士講と富士塚 東京・神奈川』平凡社 (p.53 ~ 86)
- 40 東京都板橋区教育委員会事務局社会教育課編 1985「第七章 宗教関係」文化財シリーズ第四十集『いたばしの金石文』東京都板橋区教育委員会 (p.163)
- 41 板橋区立郷土資料館編 1996『特別展 旅と信仰—富士・大山・榛名への参詣—』板橋区立郷土資料館 (p.68)
- 42 板橋区立郷土資料館編 1996『特別展 旅と信仰—富士・大山・榛名への参詣—』板橋区立郷土資料館 (p.67)
- のざわ ひとし (和光市教育委員会)
- あいだ ゆり (和光市教育委員会)
- えぐち やよい (和光市教育委員会)
- おおうち かずお (和光市教育委員会)
- さかぐち ゆかり (和光市教育委員会)
- たなか ゆみ (和光市教育委員会)